

PoE+ インジェクター

# AT-6101GP ユーザーマニュアル

この度は、AT-6101GPをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、IEEE 802.3af (PoE)、IEEE 802.3at (PoE+)に準拠したPoE+インジェクターです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

## 本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用を意図した設計および製造はされておられません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じて、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

## 1 特長

- 最大クラス4 (30W) 受電機器への電源供給が可能
- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tに対応
- 壁面・天井に設置可能

## 製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

## 2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- AT-6101GP 本体 1台
- 電源ケーブル\*1 (1.8m) 1本
- ゴム足 1.5厚 2個、3mm厚 2個
- 製品保証書 1枚
- シリアル番号シール 2枚
- ユーザーマニュアル (本書)
- 英文製品情報\*2 1枚

※1 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご利用の場合は、設置業者にご相談ください。  
同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

※2 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望めます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

## 3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

## 製品名の表記

「本製品」と表記されている場合はAT-6101GPを意味しません。



## 安全のために

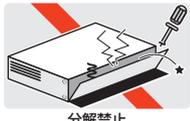
必ずお守りください



### 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

**分解や改造をしない**  
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

**雷のときはケーブル類・機器類にさわらない**  
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

**異物を入れない 水は禁物**  
火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

**通風口はふさがらない**  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがらない

**湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない**  
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

**表示以外の電圧では使用しない**  
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用です。ご注意ください。



電圧注意

### 正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピンコンセント

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

### 設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを抜く

### ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

### 適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります



正しく設置



### 静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクタの接続部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



### 取り扱いはいじらない

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。



## お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。



プラグを抜く

### 機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤使用



固く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みかき粉  
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください)



シンナー類不可

## ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(仕様で定められた環境条件下でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因となります)
- ・腐食性ガスの発生する場所

## 4 各部の名称と機能

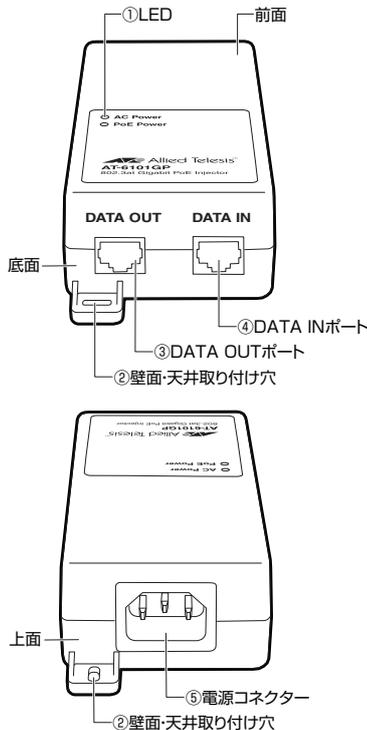


図1 外観図

### ① LED

本製品の前面には、本製品の動作状態を示す次の2つのLEDがあります。

LED	色	状態	表示内容
AC Power	緑	点灯	本製品に電源が供給されています。
		消灯	本製品に電源が供給されていません。
PoE Power	緑	点灯	受電機器にPoE電源を供給しています。
		消灯	受電機器にPoE電源を供給していません。

### ②壁面・天井取り付け穴

壁面や天井に設置するための取り付け穴です。上面と底面にひとつずつあります。

### ③ DATA OUT ポート

アクセスポイントやVoIP電話などの受電機器を接続するポートです。

### ④ DATA IN ポート

スイッチを接続するポートです。

### ⑤電源コネクタ

AC電源ケーブルを接続するコネクタです。同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご利用の場合は、設置業者にご相談ください。

## 5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

### 設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- 平らなところへの水平方向の設置
- タッピングスクリーによる壁面・天井への設置

**警告** 弊社指定以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災、故障の原因となります。

**警告** 水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほごりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。



注意

製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

### 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 背面を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほごりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

### 平らなところへの水平方向の設置

本製品を机の上などの水平な場所に置いて使用する場合は、付属のゴム足を背面の四隅に取り付けてください。ゴム足は、衝撃を吸収するクッションや滑り止めの役目をします。

1. 上面側のゴム足用穴の2つに取り付けられているゴムカバーを外します。ゴムカバーと穴の隙間に細いドライバーを差し込んでこじってください。

ゴムカバーを外した状態

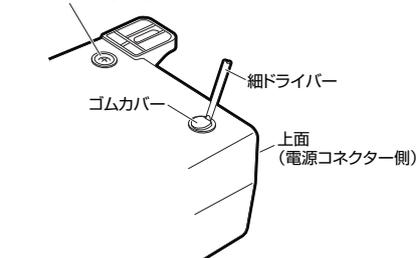


図2 ゴムカバーを外す

2. 上面側のゴム足用穴の2つに付属の3mm厚ゴム足をはめ込んでください。
3. 底面側のゴム足用くぼみの2つに付属の1.5mm厚ゴム足を貼り付けてください。

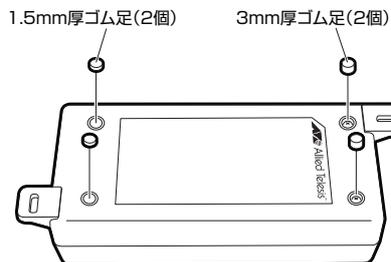


図3 ゴム足を取り付ける

### タッピングスクリーによる壁面・天井への設置

本製品の上下にある取り付け穴を使用して、本製品を壁面や天井に取り付けることができます。ここでは、タッピングスクリーを使用した設置の例を示します。



注意

取り付け用のタッピングスクリーは付属しておりません。お客様にてご用意をお願いいたします。

壁面に設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。

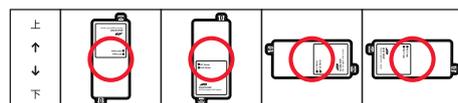


図4 取り付け可能な方向



警告

必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

1. 次の点を考慮し、設置する場所を決めます。タッピングスクリーを使用した場合に、十分な設置強度が得られることを確認してください。

- UTPケーブル、電源ケーブルの引き回し
- LED表示の監視

2. 本製品を設置面に取り付けるための適切な長さとした太さを持つタッピングスクリー2本を用意します。次の寸法図にあわせて、タッピングスクリーの下穴をあけます。

3. 本製品の取り付け穴と下穴をあわせ、タッピングスクリーで本製品を設置面に取り付けます。

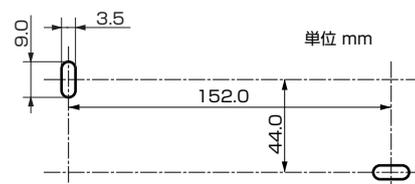


図5 取り付け寸法



警告

設置面にあわせて適切な設置工事を行ってください。十分な取り付け強度が得られない壁面・天井面に設置しないでください。十分な強度が得られない場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

適切なタッピングスクリーを使用してください。不適切なタッピングスクリーを使用した場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

## 6 接続

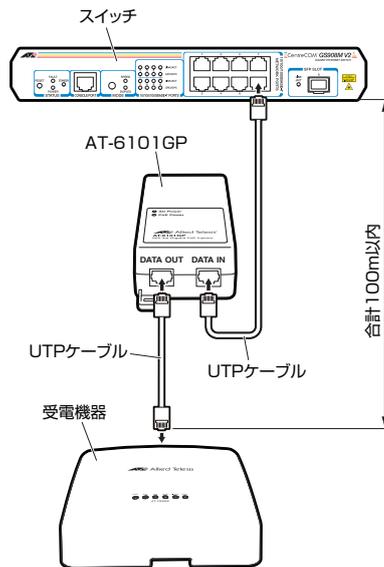


図6 UTPケーブルの接続

### ● UTPケーブルのカテゴリ

UTPケーブルを接続するポートがDATA IN、DATA OUTのいずれであるか、またDATA OUTに接続する受電機器がPoE (IEEE 802.3af)、PoE+ (IEEE 802.3at)のいずれであるかによって使用可能なUTPケーブルのカテゴリが異なります。次の表に従いカテゴリを選択してください。なお、Cat 3はカテゴリ3、Cat 5はカテゴリ5、Cat 5eはインハンスト・カテゴリ5を意味します。

	DATA IN	DATA OUT	
		PoE	PoE+
10BASE-T	Cat 3以上		
100BASE-TX	Cat 5以上	Cat 5以上	Cat 5e以上
1000BASE-T	Cat 5e以上	Cat 5e以上	



ヒント

ストレートタイプのUTPケーブルの使用をお勧めいたします。また、DATA OUTポートで使用するUTPケーブルはさらに8線が結線されているものをお勧めいたします。

## ● UTPケーブルの長さ

本製品のDATA INとDATA OUTに接続するUTPケーブルの長さの合計を100m以内にしてください。

## ● UTPケーブルの接続

1. 本製品のDATA INポートとスイッチをUTPケーブルで接続します(図6参照)。

**注意** DATA INポートをPoEやPoE+に対応したスイッチ(給電機能を持つポート)に接続しないでください。

2. 本製品のDATA OUTポートと受電機器をUTPケーブルで接続します。

**ヒント** UTPケーブルのコネクター部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

## ●電源の接続(本製品の起動)

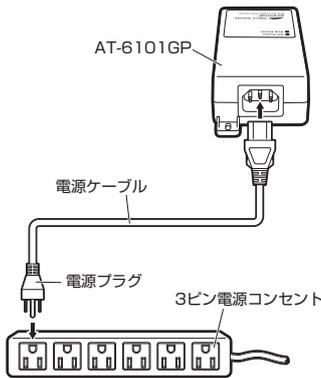


図7 電源ケーブルの接続

1. 電源ケーブルを本製品に接続し、電源プラグを3ピン電源コンセントに接続します。
2. 本製品に電源が供給されると、AC Power LEDが点灯します。本製品に受電機器が接続されている場合は、受電機器への電源の供給が始まり、PoE Power LEDが点灯します。

**注意** 本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

## ●本製品の停止

本製品を停止するには、電源プラグを抜いてください。

**ヒント** 本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

## 7 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

### ● AC Power LED が点灯しない

- 電源ケーブルは正しく接続されていますか
- 電源ケーブルを接続している電源コンセントには電源が供給されていますか

### ● PoE Power LED が点灯しない

- AC Power LEDも消灯している場合は、電源ケーブルや電源コンセントを確認してください
- UTPケーブルが本製品の適切なUTPポートに接続されていますか。スイッチはDATA IN、受電機器はDATA OUTに接続されていることを確認してください
- UTPケーブルが受電機器の適切なUTPポートに接続されていますか。受電用UTPポート以外のポートを持つような受電機器もあります
- UTPケーブルのカテゴリーは適切ですか。10BASE-Tと100BASE-TXはカテゴリー5以上、1000BASE-Tはエンハンスド・カテゴリー5以上のUTPケーブルを使用します
- UTPケーブルに問題はありますか。他のUTPケーブルに交換してみてください

## ●機器を停止後、すぐに起動していませんか?

- 本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

## ● UTPケーブルの長さが制限を超えていませんか

- 本製品のDATA INとDATA OUTに接続されているUTPケーブルの合計の長さを100m以内にしてください

## 8 製品仕様

準拠規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3af Power over Ethernet IEEE 802.3at Power over Ethernet+
適合規格	
CE	
安全規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1
EMI 規格	VCCIクラスB
EU RoHS 指令	
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC 90-264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.72A
最大入力電流(実測値)	0.72A
平均消費電力	18W(最大39W)
平均発熱量	66kJ/h(最大140kJ/h)
PoE	
給電方式	オルタナティブA
最大供給電力	33W
環境条件	
動作時温度	0 ~ 40℃
動作時湿度	80%以下(結露なきこと)
保管時温度	-20 ~ 60℃
保管時湿度	95%以下(結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	
	65(W) × 36(D) × 140(H)mm
質量	
	300g

## 9 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

### アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

<http://www.allied-telecis.co.jp/support/repair/>

☎ 0120-860332

携帯電話 / PHS からは: 045-476-6218  
月~金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00  
13:00 ~ 17:00

### ●保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

## 10 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

### アライドテレシス株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-telecis.co.jp/support/info/>

☎ 0120-860772

携帯電話 / PHS からは: 045-476-6203  
月~金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00  
13:00 ~ 17:00

## 11 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。

なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

## ●一般事項

すでに「サポートID番号」を取得している場合、サポートID番号をお知らせください。サポートID番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいてもかまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

## ●製品について

- シリアル番号とリビジョンをお知らせください。

シリアル番号とリビジョンは、本体背面の定格ラベルと製品に同梱されているシリアル番号シールに記載されています。



図8 シリアル番号シール(例)

S/N 以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列(上記例の「A1」部分)がリビジョンです。

## ●設定やLEDの点灯状態について

- LEDの点灯状態をお知らせください。

## ●お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)お知らせください。

## ●ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

## 12 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2013 アライドテレシスホールディングス株式会社

## 13 商標について

CentreCOMは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

## 14 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 15 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

## 16 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸

出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

---

## 17 マニュアルバージョン

2013年4月 Rev.A 初版